

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立水島工業高等学校		
実践者等	岡本 秀行	実践日	令和3年5月28日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	公民科「現代社会」における基礎学力定着の取組		
対象生徒 (学年等)	3年生全生徒 (5学科8クラス)		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)	プリント冊子「基礎学力到達度ワーク社会」(地理・歴史・公民の3種類)等		
使用したアプリ等	Classroom、Forms、スプレッドシート		
実践の概要 (ねらい等)	「現代社会」の学習に必要な基礎学力を身に付けさせる。		

実践の内容

- (1) これまでは、対策問題をワープロソフトで作成し、印刷したものを B5 サイズに裁断し配付していた。生徒に問題に取り組みさせたあと、解答解説し、プリントを回収していた。
- (2) 5月28日以降は、Chromebook40台を活用していることから、就職・進学対策問題を Forms で作成し、Classroom に課題として提示している。
- (3) 生徒の問題に対する取組状況 (Forms の回答シート) は、視聴覚教室のスクリーンに投影し、約 30 人前後、課題が提出された頃に、解答解説を加えている。
- (4) 生徒一人一人の解答を、スプレッドシートなどに置き換え、スクリーンに投影することにより、間違いやすい解答例などを共有でき、学び合いが進んでいる。
- (5) 課題は、Classroom のストリーム上に残るため、いつでも過去問の学び直しが可能となっている。
- (6) 就職・進学を控えていることもあり、生徒は積極的に取り組んでいる。



問題は、概ね 10 題前後出題している。
概ね、15 分前後、解説まで時間を要している。

スプレッドシートによる可視化により、生徒同士、誤答について共有できる。

参考となる HP 等	
------------	--